

# 事業評価表

京都府南丹市  
作成日: 平成21年05月03日

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0110302 - 05000

事業名	中学校通級指導教室事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ( )				教育委員会 学校教育課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業                      政策体系CD: 122 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	学校教育法施行規則・南丹市通級指導実施要綱				

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
 将来を担う人材育成という観点から、特別支援に係る多様なニーズに応えるべく、本市においては、通常学級に在籍する比較的軽度な障がいをもつ生徒に対する支援を行う通級指導教室が設置されており、学習障害や構音障害、自閉症等の軽度発達障害児童への指導支援の場として機能している。
- ②事業を実施する必要性  
 将来を担う人材育成という観点から、学校教育に期待されるものは大きく、これらの負託に応えるために、特別支援教育に係る取組は重要である。なお、該当設置校（園部中学校は、南丹市内の4中学校の通級指導校として設置されている。
- ③未実施事項  
 未実施事項なし
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
 第4章5 未来を担う人づくりを進める  
 =特別支援教育に係る様々な取組と積み上げによる人づくりという点から=

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円		350	270	269	350
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円		0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	一般財源	千円		350	270	269
職員等従事人員	人/年	—	—	0.12		
人件費	千円	—	—	624		
事業費総額	千円	—	—	894		

## 【主な支出の内訳】

通級指導教室設置校[園部中学校]の運営に係る経費  
 1,321千円（教育相談に係る担当教員旅費、特別支援教育用備品、発達検査用備品等）

## 【近隣市町村の取り組み状況】

近隣市にあり

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

京都府から平成19年度に試行的設置（人的配置）がなされ、これを本格運用するについて、協議検討し、運用上の具体方法をもって平成20年度から本格運用している。

## 【所属長総括評価】

特別支援教育に充実という観点から、特に重要な事業であると考え。学校教育法の改正による特別支援教育の概念が広がり、より緻密な教育が求められることから、今後も継続した取り組みが必須であると考え。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	122	事業名	中学校通級指導教室事業		
事業CD.	110302-05000	細事業名			
所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当	寺田 成樹

110302-05000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
教育相談	通級指導教室への通級希望者に係る発達検査及び、発達に課題がある生徒の検査・相談	通年	相談実施件数:15件
通級指導	通常学級に在籍する比較的軽度な障がいを持つ生徒に対する支援を行う通級指導を実施。(市内の設置校は、園部中学校)	通年	平成20年度通級児童数:9人